

第49号

ふるさとあやめ通信

令和6年度

城下町新発田まつり

「記憶と歴史に刻む」をテーマに今年も開催します！

約300年前から伝承されてきた歴史ある行事「城下町・新発田まつり」昨年からようやく行動制限なく開催され、昨年は期間中に約12万人の方にお越しいただきました。

今年は「記憶と歴史に刻む」をキャッチフレーズに、市民一人ひとりの記憶にしっかりと刻まれるお祭りを目指し実施いたします。今年も行事もりたくさん！ぜひお越しください。

8月 市街地花火 城下町しばたまつり

25日 27日～29日



行事スケジュール

17日(土)～29日(木)

◆金魚台輪地域廻り

25日(日)

◆市街地花火と和太鼓の饗宴

26日(月)

◆市街地花火と和太鼓の饗宴(予備日)

例年23日に開催していたところ、
今年は25日(日)に開催！

27日(火)

◆奉納台輪

◆しばたっ子の祭典

◆民踊流し／新発田よさこい物語

28日(水)

◆まつりパレード(小雨決行)

29日(木)

◆帰り台輪

今年は民踊流し(メインストリート)、よさこい(札の辻広場)同時開催！



ご協賛を募集しています

ふるさと新発田へ皆様からの応援をお待ちしております。
詳しくは公式HPまたは別添チラシをご覧ください。

○まつり協賛 1,000円～

「まつりプログラム」に企業・団体名等を掲載します。

○花火協賛

①記念花火協賛 200,000円～

広報しばた、まつり公式サイトで企業・団体名とPRコメント掲載のほか、当日は企業・団体名とPRコメントをアナウンスし、打ち上げます。

②大口花火協賛 100,000円～

広報しばた、まつり公式サイトで企業・団体名掲載のほか、当日は企業・団体名をアナウンスします。

③一般花火協賛 1口 1,000円～

まつり公式サイトで企業・団体名を掲載します。



▲城下町新発田まつり公式HP
(webでのお申込みはこちらから)

6/20(木)申込〆切

※新規お申込は専用webフォーム
または同封の申込書をメール・FAX
ください

全国初! ※

新発田まつり限定版の「御城印」「御朱印」を販売します

今年の城下町しばたまつりのテーマ「記憶と歴史に刻む」にちなみ、新発田市観光協会では、新発田総鎮守である諏訪神社と連携し、新発田まつり限定版の御城印及び御朱印を販売いたします。

毎年8月27～29日に開催される「新発田まつり」は、諏訪神社の例祭（8月26～29日）が起源。享保11年（1726年）、6代新発田藩主である溝口直治公が、諏訪神社の祭礼をより賑わいのあるものにするため『飾り人形の屋台を出すように』とのお触れを出したことをきっかけに、新発田まつりの華である「しばた台輪」が誕生したと言われています。初代新発田藩主である溝口秀勝公が、新発田城内に諏訪神社を遷座（のちに現在地へ遷座）したことからも新発田城と諏訪神社の関係性の深さがわかります。

「御城印」「御朱印」それぞれには、「しばたまつり」の華・台輪を所有する6町内及び祭礼に欠かせない悪魔払いを行う職人町の計7町内の法被にデザインされた背紋を印字。台輪をあしらった新発田まつりのスタンプを押印するとともに、力強さを表現した新発田城と諏訪神社のイラストを配しています。

また、今回の特徴として「御城印」と「御朱印」を並べると、中央に提灯の図柄が完成する仕掛けを施しています。「御城印」と「御朱印」がこのような形で販売されるケースは珍しく、全国初の試みとなります。（※同協会調べ）



〈御城印〉

〈御朱印〉

◆販売期間

2024年8月1日(木)～2024年8月31日(土)

◆販売場所

御城印

安兵衛茶屋(新発田市大手町4-5-5)

※新発田城表門前、発売期間中無休、10～16時

御朱印

諏訪神社(新発田市諏訪町1-8-9)

※9～17時(例祭中は変動あり)

◆価格

各500円(税込)

お問合せ先 (一社) 新発田市観光協会
TEL 0254-26-6789

「新発田城WAON」発売!

新発田市とイオン(株)は、産業連携・市産品の販売促進、健康増進・食育に関することなど、幅広い分野で緊密な連携を図るため、令和6年3月に地域貢献連携協定を締結しました。

本協定の取組の一環として、新発田市オリジナルデザインの『新発田城WAON』が発売されました!

『新発田城WAON』は、全国約135万カ所のWAON加盟店でご利用いただけ、ご利用金額の0.1%が新発田市に寄附され、新発田城の保全や周辺整備に活用されます。

カード版はイオン新発田店、イオンスタイル新発田中田などでの購入となりますが、モバイル版はWAONアプリ(iosのみ対応)をApp Storeからダウンロードできます。ぜひご利用ください!

カード版

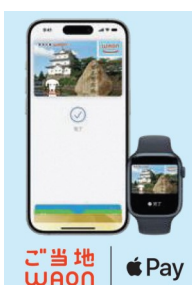


〈表〉



〈裏〉

モバイル版



◆カード版

発行手数料: 300円

年会費: 無料

登録不要

◆モバイル版(iosのみ対応)

発行手数料: 無料

ダウンロードはこちらから▶



紫雲寺地域で新たに「しうんじ号」の運行を開始！

少子高齢化社会が進行している中、市では利用者側の利便性、運行側の効率性、そして、将来への持続性を考慮した定路線迂回型の運行方式と一定ルールを組み込んだ「新発田版デマンド方式」を市内周辺地区に展開し、公共交通空白域の解消に取り組んでおります。

これまでに整備した松浦地区、豊浦地域、五十公野～赤谷地区、加治川地域に続き、第5番目の整備エリアとなる紫雲寺地域で「しうんじ路線」の運行が5月21日から開始されました。

この地域では、高校生の通学利用と全地域を網羅する小回り運行を両立させるため、バス車両とワゴン車両を複合的に活用する方式でスタートしました。

運行開始を記念し、5月21日には出発式が行われ、テープカットで出発を祝いました。地域の皆さんの移動手段として、重要な役割が期待されています。



▲二階堂市長挨拶



出発式の様子▶

8/8(木)銀座に『THE NIIGATA』グランドオープン！

昨年12月に閉館した『表参道・新潟館 ネスパス』に代わり、県が新たに銀座に設置する首都圏情報発信拠点『銀座・新潟情報館 THE NIIGATA』のオープン日が決定しました。詳細や最新情報については、公式HPから各種SNS（Instagram、Facebook、X、LINE）をフォロー＆お友だち登録してお待ちください。新しい拠点のオープンを皆様で応援しましょう！

スケジュール

5月31日(金)OPEN

8F レストラン「THE NIIGATA Bit GINZA」

6月17日(月)OPEN

B1F にいがた暮らし・しごと支援センター

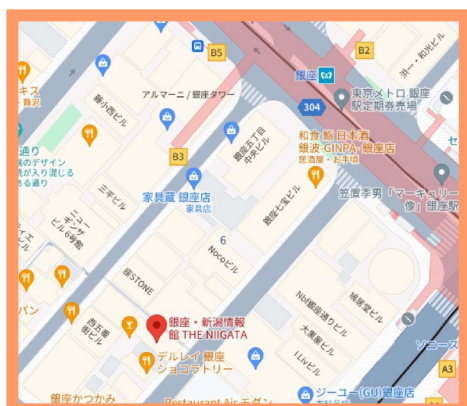
3F イベントスペース

8月8日(木)OPEN

1F ショップ(おにぎり、食品等)

2F 新潟清酒・THE SAKE Stand

2F ショップ(酒、工芸品等)



<MAP>

アクセス

- 東京都中央区銀座5-6-7
- 最寄り駅
 - ・東京メトロ「銀座駅」A2・B5出口より徒歩2分
 - ・JR「有楽町駅」より徒歩8分



◀公式HP

NEWS

8/11(日)

**新発田物産フェア
開催決定！**

3F イベントスペースにて新発田の物産を販売します！
最新情報はTHE NIIGATA 公式HPをご確認ください。

新発田市では、現在9名の地域おこし協力隊が活躍しています。数ある活動地の中から、新発田を拠点として選んだ協力隊の皆さんに、「新発田」についてお話を伺いました。

地域おこし協力隊とは…都市地域から過疎地域等へ移住して、概ね3年間の任期の中で「地域協力活動」をしながらその地域への定住・定着を図る取り組み。



にわ みさこ
丹羽 美砂子 さん
令和5年11月 着任

これまでのさまざまなご経験を活かして、地域の皆さんが笑顔になれる居場所づくりに取り組まれています。

昨年の11月に地域おこし協力隊として大阪から赴任して参りました丹羽美砂子と申します。

今までプログラマーやWEBデザインなど、家庭と両立しながら働くことで、社会と接点を持っていました。子育て中に一念発起して通信制大学で空間演出デザインを学び、卒業制作では、忙しい日常でも絵本を通してふれあう親子の時間をテーマとしたワークショップに取り組みました。その際、ご参加いただいた親子の笑顔を見ることで、かけがえのない喜びを得ました。

子どもが独立して、これからは今までの仕事や子育てでの経験を生かして、以前から興味があっていた空き家利活用や人が集う居場所づくりが実現できればと模索していたところ、地域おこし協力隊の制度を知りました。夫や子どもたちは、仕事のために、それぞれ東京や北海道で暮らしており、城下町や田園風景が広がる新発田市に惹かれて、地域おこし協力隊として活動中です。

これまでの活動として、1つは、米倉有機の里交流センターでサークル活動されている70代女性9人の皆さんと吊るし雛づくりを行いました。最初、針仕事は久しぶりで、うまくできるかしらと心配されていましたが、楽しくおしゃべりしながら、時には教え合い、途中からは、皆さんが黙々と集中して手を動かされている光景がとても嬉しく、印象に残っています。完成した吊るし雛は、2月末から約1ヶ月間開催されたしばたひなびらきの米倉会場（有機の里交流センター）に展示していただきました。



▲米倉「なでしこ会」にて吊るし雛づくり



▲臨床美術の作品

もう一つは、住吉コミュニティーセンターとアクティブ交流センターで、70代～80代の方に10人程度お集まりいただき、臨床美術体験講座を行いました。臨床美術というと初めて耳にする方や、絵を描くことに苦手意識をお持ちの方が多いと思います。臨床美術とは、絵やオブジェなどの作品を上手下手ではなく、自由に思いのまま作り上げる過程を通して、右脳の活性化によって、ストレス緩和や認知症予防などの効果が認められているアートセラピーです。参加された全員が初めての体験でしたが、皆さんが夢中でりんごをモチーフに描いた作品は、それぞれ個性があって、とても素敵で、何より楽しかったとお喜びいただきました。

今後は、「フードバンクしばた」が今年の5月に出産前後の母親などをサポートする施設として新たに開設した「産前産後ケアゆりかご」の活動に関わり、利用者みなさんが笑顔になれるお手伝いができればと思っています。